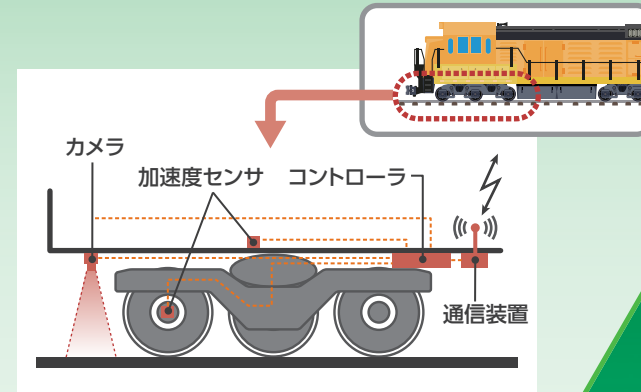


軌道遠隔監視装置

軌道変位計測を営業車両で行い、
環境負荷低減に貢献

営業車両に搭載することで、営業運転中での線路のゆがみ（軌道変位）の計測が可能です。これまでの専用検測車両の利用が削減され、エネルギー使用の低減が実現します。

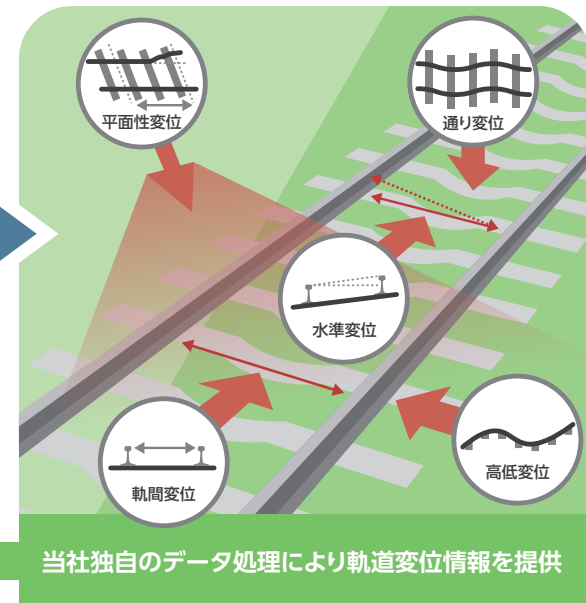
また、営業車両への搭載は、高頻度計測と追加のエネルギー抑制との両立により、保線品質の向上に寄与します。



2023

Kawasaki
Ecological Frontiers
S class

2020年：初回登録



製品紹介

鉄道車両にカメラ、加速度センサを搭載し、鉄道車両の走行安全性や乗り心地に影響を与える線路のゆがみ（軌道変位五項目：軌間、高低、通り、水準、平面性）を計測する装置です。海外での実用化に取り組んでいます。

特長

- 営業車両への搭載により、専用検測車両では限定されていた計測頻度を、大幅に向上可能とします。
- 大幅な小型軽量化を実現し、かつ分散搭載が可能のため、搭載の自由度が飛躍的に向上しています。そのため、スペースに余裕がない既存車両への追加工事での搭載も容易に実現します。